

令和5年度第1回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議 会議録

1 日 時 令和5年6月27日（火）19時から20時45分まで

2 場 所 ひたちなか保健所（WEB会議として開催）

3 出席者 別添「出席者名簿」のとおり

4 議事

（1）定足数の確認

事務局司会（ひたちなか保健所副参事兼次長兼総務課長 木村）は地域医療構想調整会議委員26名のうち、出席が23名、欠席が3名で地域医療構想調整会議設置要綱第7条第2項に規定する定足数に達したことを宣言した。

（2）出席者の紹介

新任2名を紹介し、継続の委員については、名簿の配布をもって委員の紹介に代えた。

（3）会議の公開

事務局司会が本会議を公開することについて意見を求めたところ、意義なく承認された。

（4）会議録署名人の指名

会長は調整会議設置要綱第10条により、会議録に署名人に櫻山委員及び小豆畑委員を指名した。

(5) 議事

議長は事務局に次の事項の説明を求め、事務局は会議資料に基づき説明を行い、質疑応答及び意見交換が行われた（別紙参照）。

●協議事項

①紹介受診重点医療機関（外来機能報告）について

・協議対象7医療機関について報告。3医療機関の意向については保留のまま継続協議となり、後日書面協議により、ひたちなか総合病院が紹介受診重点医療機関になることで合意された。

②令和5年度医師派遣調整に係る医師派遣要望調査について

・地域としての要望を優先に、常陸大宮済生会病院の整形外科、ひたちなか総合病院の救急科、茨城東病院の呼吸器外科への派遣要望を行うことで合意された。

●報告事項

①令和4年度第3回会議の会議録について

②医療機器の共同利用計画について

③許認可病床の介護医療院への転換等

④病床設置届出診療所に係る協議事項からの変更

⑤その他 第8次医療計画及び協議会スケジュール等

以上をもってすべての議事が終了したので、議長は閉会の宣言をした。

上記を確認するため、会議録を作成し、会議録署名人が署名する。

令和5年 7月26日

地域医療構想調整会議会長

小野 瀬 好 良

会議録署名人

櫻 山 拓 雄

会議録署名人

小豆 畑 丈 夫

令和5年度第1回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議委員名簿

委員名簿

	区分	氏名	役職	代理出席者等
1	医師会	小林 肇	一般社団法人常陸太田市医師会 会長	
2	医師会	黒澤 崇	一般社団法人ひたちなか市医師会 会長	副会長 遊座 文郎
3	医師会	小野瀬 好良	一般社団法人那珂医師会 会長	
4	医師会	櫻山 拓雄	一般社団法人茨城県水郡医師会 会長	
5	医師会	小林克男	一般社団法人珂北歯科医師会 会長	欠席
6	薬剤師会	草野 朋子	常陸太田薬剤師会 会長	
7	看護協会	三本松 まゆみ	公益社団法人茨城県看護協会 常陸太田・ひたちなか地区理事	
8	病院協会	鈴木 直文	一般社団法人茨城県病院協会 (医療法人聖友会理事長 慈泉堂病院)	
9	保険者	針生 啓二	全国健康保険協会茨城支部 業務部業務グループ長	
10	福祉関係団体	中村 正美	社会福祉法人東海村社会福祉協議会 会長	
11	介護事業者	菊池 義	社会福祉法人ナザレ園 理事長	
12	住民代表	鴨志田 幸司	一般社団法人日本介護支援専門員協会茨城支部那珂・太田合同地区会 会長	
13	市町村	大谷 明	ひたちなか市 市長	欠席
14	市町村	鈴木 定幸	常陸大宮市 市長	保健福祉部長 笹沼 睦男
15	保健所	金本 真也	茨城県ひたちなか保健所 所長	新任
16	基幹病院等	小島 正幸	社会福祉法人恩賜財団済生会支部茨城県済生会 常陸大宮済生会病院 院長	
17	基幹病院等	石井 幸雄	独立行政法人国立病院機構 茨城東病院 院長	新任
18	基幹病院等	荷見 源成	医療法人貞心会 西山堂病院 院長	
19	基幹病院等	吉井 慎一	株式会社日立製作所 ひたちなか総合病院 院長	
20	基幹病院等	手島 研作	医療法人すこやか 母と子の病院 理事長	
21	基幹病院等	大山 祥	医療法人大修会 大山病院 院長	
22	基幹病院等	鈴木 邦彦	医療法人博仁会 志村大宮病院 院長	欠席
23	基幹病院等	小豆畑 丈夫	医療法人社団青燈会 小豆畑病院 院長	
24	基幹病院等	小松 満	医療法人薫光会 小松整形外科医院 理事長	
25	学識経験者	片岡 秀樹	常陸大宮市消防本部 消防長	
26	学識経験者	前野 哲博	筑波大学医学医療系地域医療教育学教授	

令和5年度第1回常陸太田・ひたちなか地域医療構想調整会議 意見要旨

日時 令和5年6月27日(火) 19:00~20:45

開催方法 WEB会議(Webex)

●議事

〔協議事項〕

- (1) 紹介受診重点医療機関(外来機能報告)について
- (2) 令和5年度医師派遣調整に係る医師派遣要望調査について

〔報告事項〕

- (1) 令和4年度第3回会議の会議録について
- (2) 医療機器の共同利用計画について
- (3) 許認可病床介護医療院への転換等
- (4) 病床設置届出診療所に係る協議事項からの変更

紹介受診重点医療機関(外来機能報告)について

小島委員

常陸大宮地区を中心にやっていきたいところではあるが、200床以下であり、近くのクリニックが閉院になり患者が流れてきており、紹介・逆紹介率の確保が難しい。

吉井委員

地域医療支援病院が、紹介受診重点医療機関と名前を併記する意味が具体的にわからない。地域医療支援病院の役割はもっと幅広く、医師の少ない地域を支援する役割がある。地域への医師の派遣等も含めてその地域を守らなくてはいけないという構想で動いているので、私としては今日のお話を聞いてから決めようと思ってる。

石井委員

地域医療支援病院で同時にもう一つの意味合いというものがよくわからなかった。事務作業が増えることも予想されると、同時に取得する意味合いというものがよくわからないため、現時点で手挙げしていない。

吉井委員

地域に入院施設を持つ病院は、中規模あるいは小規模病院であっても、そういう機能を持って欲しいという意味合いだと思う。200床以上だったら、紹介状なしで来た患者さんからお金を取らなくてはいけないというデメリットもある。数字だけで認められないのではなく、やる気があるところに関しては、ある程度の数字の誤差は認められる。地域支援病

院的なところが少し加味されてるという認識でいる。

小豆畑委員

どういう医療機関がこれをやるべきなのか。例えば、ひたちなか総合病院みたいなところがやって欲しいということなのか、それとも中小病院がやって欲しいということなのか。厚労省なり県なりがどう考えてるのかを明らかにしていただけると協議できる。

金本委員

趣旨としては、意向があるところは、応募してもらおう。その基準を満たさないところは、手を挙げる代わりにその基準を満たすように努力をして計画を立てて欲しい。それを協議会で協議して欲しいということ。具体的なメリット等に関しては、再度、確認させていただく。

医師派遣要望調査について

小島委員

地域柄高齢者が多くて整形外科疾患が多い。常勤がいないため救急対応できず遠方に救急搬送されてしまう。

吉井委員

4人にして出しても、派遣してもらえる保証はない。大学側の要件を満たしてるところが申請するという考え方で出すのなら、地域医療構想会議の中で協議する問題ではなくなる。地域の中で、大宮済生会病院が本当に困ってるなら要望した方がいい。そういう地域全体の議論じゃないかと思っている。

小林委員

私たちのところは県北なので、常陸大宮済生会病院でぜひ医師派遣をして欲しい。条件は、整ってないかもしれないが診ていただかなければ、日常の診療は非常に困る。必ずしも条件に合ってなくとも、特例みたいなことで出していただけたらと思う。

前野委員

せっかく発言の機会をいただいたので一言。ぜひご理解いただきたいと思っているが、昔と今ではもう大学の雰囲気は全然違う。教授には人事権は少ししかない。医師には専門研修プログラムが持てるほどの大病院志向があり、循環させながら地域を支えていくという大学に人が今集まらなくなってるという現実もある。

大学からの派遣のポイントというのは、本当に大学の立場の切実な願いである。

要望の大体 1 割ぐらいしか答えられないという制約がある中で、どのように効率的に配

置していくかということ考えた場合に、地域を一番よくご存知の先生方に、地域の中で話し合っていて、条件を満たし、かつ、優先度の高いものの中から選んでいただければと思う。

金本委員

あくまでも地域の皆様のご要望最優先でいくか、それともわずかながらでも大学にマッチングする可能性が高い現実を取るかという、心苦しい選択肢になってしまうことになる。もちろんこれ以外に何かご提案があればいただきたい。

小松委員

まずは茨城東病院の呼吸器外科が1人になってしまうというのが一番の問題だと思う。それが第1優先。それから常陸大宮済生会病院。私ども整形外科なので、大宮地方からから患者さんがいっぱい来る。確かに、常陸大宮済生会病院に整形外科医が常勤でいないというのは非常に地域としても苦しいと思う。一番困ってるところから要望した方がいいのかなという印象を持っている。大学はこう考えるだろうとか考えないで、単純な要望を出したほうがいい。

吉井委員

小松先生がおっしゃったように、大学がどう考えてるかっていう個別の科の問題になると、ここで議論する問題じゃない。茨城東病院で、今現実に1人やめたことを考えると、まず茨城東病院の呼吸器外科は絶対外せないと思う。

小野瀬会長

私も、小松先生と同意見。まず地域としてどういうことが要望されてるかということ、結果としてどうなるかはわからないが、そういう方向性でこの会議を考えていきたいと思う。まず地域の要望を素直に出したらどうか。

事務局

それでは、地域の要望を優先するというので、常陸大宮済生会病院整形外科2名、ひたちなか総合病院救急科1名、茨城東病院呼吸器外科1名として、合計4名で要望書を作成させていただく。

以上。